

1. 活動報告（事務局 記）

—4月3日（日）二俣瀬ふれあいセンターにて、令和4年度の総会が開催されました。参加された会員は、23名でした。令和3年度の活動報告・会計報告などがあり、了承されました。役員（会長人事）および名称変更が提案されましたが、保留となりました。会長人事の話し合いの中で、今後のビオトープの在り方、責任の所在等について議論を行いました。なお、この話し合いの中で、外部からの問い合わせを受ける連絡先が、“前田”に変更となりました。令和4年度活動計画の重点事項は以下の通りです。

- ・維持活動は、ため池い架かる橋の補修
- ・観察隊は、山大生によるリーダーの養成
- ・エコアップは、湿地帯浚渫

—4月10日（日）会員14名で、竹林整備（観察隊の筍掘りのため）、水路の溝浚え、湿地帯の角にある木の撤去、片づけた草の焼却の作業を行いました。

—4月11日（月）観察隊タケノコ堀の事前準備でイノシシ被害防止のため竹林に電気柵を設置しました。

—4月16日（土）親子自然観察隊は結隊式と野草観察を行いました。最初に挨拶や注意事項などの説明を行い、竹林で筍掘りをして、家族分と会員分を収穫してもらいました。次に野草採取して、来賓の村田講師に野草に関する説明を受けました。参加者は、親16名、子20名、村田講師、会員15名でした。

2. 今後の予定（事務局 記）

◎行 事

- 5月1日（日）維持活動（草刈り、溝あげ、エコアップ、修復作業）
- 5月21日（土）親子自然観察隊（野鳥観察）
- 5月29日（日）維持活動（溝あげ・草刈り）、田植準備（代掻き・整地）

3. 来訪者の声

★4月9日（土）快晴（宇部マニアックス STA202204091647）

今日は山中地区を撮影して市道杉ヶ河内線経由で立ち寄りました。ちょっとくたびれてるんでサクッと撮影して帰ります。いつでも気軽に来れるのが良いですね。

※どなたか山中付近にある婦曾々々（フソフソ）についてご存じの方はいらっしゃいませんか？

4. 会員の声 「活動の下支えについて」 (原田満州夫 記)

今年も「親子自然観察隊」の観察体験学習が始まりました。早速結隊式後、春の野草観察とタケノコ堀が体験できました。

何の活動体験を行っても、皆様が安全に有意義に体験できるよう、世話人は大変な事前・事後活動を行っています。今回の春の野草では当たり前なのですが、隊員が十分にタケノコ堀ができるよう猪の被害を無くする電気柵を取り付けたり、観察隊員が転げないように不要竹を取り除いたり地面から飛び出ている竹根を除去したり、このあたりの活動をもっと強く知ってほしいと感じました。

今後も「親子自然観察隊」の観察会や「二俣瀬子ども会」も同時参加する稲作体験等、このあたりのことをよく知って参画学習してほしいものです。

5. 親子自然観察隊 【 結隊式・野草の観察会 】 (管 哲郎 記)

親子自然観察隊の結隊式と野草の観察会を行いました。欠席は1家族だけで、36名の親子が参加されました。

原田会長よりの開会宣言、管隊長より結隊式宣言、関根事務局長や原谷役員による注意事項などのお話のあと、ビオトープスタッフの紹介と村田講師の紹介、講師よりの自己紹介をいただいたのち早速観察会を始めました。

2日前の14日には幸運にもかなりの雨が降りましたので、思った以上のタケノコが見つかり、全員が掘り取りを楽しめたようです。10:30にはタケノコ堀を終え、東屋に戻り小休止したのち、講師より「春の七草」のお話をさせていただきました。そのほか、毒草の話や、花の色について、遊びの方法、その他の雑草についてのお話を聞き観察会を終了し結隊式を終了しました。

帰りには掘り取った竹の子に加え、アク抜き「コメヌカ」をそれぞれ分けていただき全家族持ち帰りました。

親も子もスコップとバチグワを使い、慣れない手つきで一生懸命にタケノコ堀を行いました。おかげさまでけがもなく無事今年最初の観察会を終えました。ビオトープ会員の協力のたまものと思います、皆さん、ご苦労様でした！





村田講師による「春の七草」のお話

親子自然観察隊の感想

★渡邊萱

たけのこが沢山とれて良かった。前より上達したと思う。

★渡邊芹

去年よりたけのこが多くとれて嬉しかった。

★渡邊（母）

充実した顔で帰ってきたので楽しんだんだろうなと思いました。

★湯浅（母）

子どもたちは「筍を掘るのは大変だったけど、楽しかった」「筍の料理がおいしかったと大満足でした。家族で参加できて、とてもいい時間を過ごせました。ありがとうございました。次回も楽しみです！ またよろしくお願い致します。

★森（母）

初めて参加させて頂きましたが、自然豊かな場所で小猿さんにも迎えて頂き、とても楽しく過ごす事が出来ました。自然との接し方で、可愛くてもお猿さんには手を出してはいけない事、蛇やダニ、植物の注意点など、親子で勉強になりました。タケノコ掘りは親子で初体験でしたが、先生方が丁寧に教えて下さり、とても楽しく収穫する事ができました。頂いた筍は帰宅後、早速調理して筍ご飯、お味噌汁に入れて頂きました。自分で掘ったからか、日ごろは食べないのに、子供たちも喜んで食べていました。これから、一年活動が楽しみです♪ 一年間宜しくお願い致します。

★竹内結咲

初めてタケノコを取りました。むずかしかったです。とれたらうれしかったです。

★竹内（母）

家族初めてのタケノコ掘りでした。最初はもっと簡単に掘れるだろうと思っていましたが、教えて頂いた通り実践しましたが、鍬の入れ方が難しかったです。家族で力を合わせバケツいっぱい採れて嬉しかったです。野草も初めて聞く名前ばかりで名前のついた由来など聞いて楽しかったです。勉強になりました。村田先生ありがとうございました。

★中村（母）

初めて、自然観察隊に参加させてもらって、自然と触れ合える大変貴重な時間を過ごすことが出来ました。タケノコ掘りは、楽しかったです。タケノコの切り離す向きがあることを初めて知りました。また、自然に生えている草にも、食べれるもの、毒があるものなど、勉強になりました。土や自然と触れ合える良い機会になりました！ありがとうございました。

6. ピオトープ関連：「山口県の昆虫たち」（管 哲郎 記）

(74) ジャコウアゲハ *Byasa alcinous* アゲハチョウ科

黒色のアゲハ蝶で細長い尾状突起があります、オナガアゲハに似ていますが、黒色の腹には赤色帯があるので判別できます。4月～9月までみられ、山地の林縁部、川沿いの土手、農地、人家周辺などに繁殖するツル状の植物「ウマノスズクサ」を探し産卵しますので、性質を知れば、その付近をうろうろと飛び回っていますので容易に見つけられます。このチョウも「アサギマダラ」同様、食草に含まれる有毒物質を体内に取り込み、外敵より身を守っていると考えられます。しかし、カマキリにはかなわないようです。

山口県では一年に3回ほど発生します、サナギで越冬もしますので、冬場に草や木が枯れた時にはサナギが見つかりやすいので、サナギ探しには格好の季節となり、冬場の昆虫採集の一つとして楽しむことができます。食草であるウマノスズクサの近くにある葉の落ちた樹木、川沿いのコンクリート構造物（樋門）、農業倉庫の壁、暗渠の中などにくっついていることがあります。

羽化してしばらくするとメスは産卵のために食草を探し、その周りをしつこく飛び回ります、その付近のウマノスズクサの茎や葉を調べてみると、大小の幼虫が葉っぱに上り餌を食べているのが見つかるでしょう。一度試みてはいかがでしょうか。



ジャコウアゲハ オス



メスの産卵



枯れ枝とサナギ



ウマノスズクサの葉に卵と幼虫

7. 会よりの連絡事項

- 1) 新緑時期の落葉で水車水路のつまりやオーバーフローが多く発生します。活動日だけでなく時々見学方々チェックと修正作業もお願いします。

8. 編集後記 (原谷 一誠 記)

今年も親子自然観察隊が始まった。コロナ対策もしながらであるが、やはり子供たちが元気にビオトープを駆け回ってくれる事は嬉しく感じています。ビオトープには、危険な生き物も多くいます。これからは、マムシ・ヤマカガシ(毒蛇)、スズメバチ、毛虫などが活発に行動する事が考えられ、また子猿がビオトープに顔を出して悪さをしており、事故もなく行事が行えることを願っています。ビオトープにいるいろいろな生き物とも共存して、自己管理により危険を回避して欲しいと思います。